

# ハミングク



No.72

2015.10.1

## 基本理念

本院は診療・教育・研究を遂行する大学病院としての使命を有し、また患者さんの人権を尊重した先進的医療を行うとともに、次代を担う国際的な医療人を育成する。



## 主な記事

- 開院70周年記念・病院長からのごあいさつ ..... 2
- 海外渡航者ワクチン外来を開設しました ..... 3
- 高校生一日看護師体験事業 ..... 4
- 看護職復帰支援講習会を行いました ..... 4
- 信州大学の病院連松本ぼんぼんに今年も参加 ..... 5
- 小児科病棟の夏祭り 花火大会が開催されました ..... 6
- 院内学級にて移動プラネタリウムの上映会を行いました ..... 6
- 東4階 病棟の紹介 ..... 7
- ご意見函からの声 ..... 7
- 電話番号表・編集後記 ..... 8

# 開院70周年記念・病院長からのごあいさつ

信州大学医学部附属病院長 本郷 一博

信州大学医学部附属病院70周年を迎え、ご挨拶を申し上げます。

本院は、昭和19年3月に松本医学専門学校が設立認可された翌年の昭和20年6月に松本医学専門学校附属医院として開院し、本年で70周年を迎えます。開院当初、内科、外科、産婦人科、皮膚泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、小児科、物療科の8科、病床数276床の規模でしたが、現在、33におよぶ診療科を有し、病床数707床、教職員1800名を数える規模となり、長野県唯一の国立大学病院、特定機能病院として、その役割を果たしています。この間、社会情勢、医療を取り巻く環境も激変する中、多くの先人達により幾多の難関を乗り越え、発展して参りました。諸先輩のご努力に感謝するとともに、今後さらに発展させていくべき責任を痛感しております。



本院は、常に前進を続けております。この10年間をみても、高度救命救急センター、先端細胞治療センター、近未来医療推進センターなどの設置、新外来棟のオープン、信州ドクターヘリの運用開始、信州がんセンター、総合診療科を設置、手術ロボット「ダヴィンチ」の導入など多くの事業を行って参りました。また、近隣の医療機関と密な連携をとりながら地域住民の皆様の健康を守り、そして医育機関として医師、看護師など医療スタッフの育成に努めております。

消費税増税の影響などにより、全国の国立大学病院の運営は厳しくなっており、信大病院も例外ではありません。磐石な経営基盤があつてこそ、大学病院、特定機能病院としての機能を十分に発揮し、先進的な医療の開発、よき医療人の育成ができると思っております。病院を挙げて経営改善にも取り組みつつ、引き続き、病院の環境整備、機能強化を図っていくつもりでおります。現在、立体駐車場を建設中で、10月1日から運用を開始する予定です。この半年間駐車場の使用が制限され皆様には大変ご迷惑をお掛けしましたが、駐車場不足もこれで解消すると期待しております。また、世界水準の高度医療、先進医療を地域の患者さんに今以上に提供するために「包括先進医療棟」を平成30年春にオープンする計画を進めております。これは、北中央診療棟東の駐車場スペースに地上6階地下1階の新たな建物を建設し、信州がんセンター、手術室増室分、ICU、周産期医療センターなどを配置し機能強化を図るものです。

今後とも、地域の皆様に信頼され愛される大学病院であり続けるべく、教職員一丸となって前進して参ります。引き続き本院に対しまして、ご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。



# 海外渡航者ワクチン外来を開設しました

感染制御室 金井 信一郎



近年はグローバル化が進み、長野県内でも年間18万人の方が海外に渡航されています。海外には国内とは違った感染症もあり、医療状況も異なるため予防が重要となります。本外来は旅行や留学、赴任などで海外に滞在される方の感染症予防のためのワクチン接種を主な目的とした専門外来です。感染症を専門とする医師が安心できる海外渡航をサポートします。お気軽にご相談ください。

## 【業務内容】

1. 渡航前・帰国後ワクチンの相談、接種（原則として未就学児童のワクチン接種は行いません。）
2. 渡航中に必要なマラリア予防薬の処方
3. 留学やビザ取得に関する証明書発行
4. 渡航時健康診断（血算・生化学検査、心電図、胸部レントゲンなど）
5. 渡航先の医療情報の提供

## 【診療日時】

毎週火曜日13:00～16:00  
 （祝祭日・年末年始（12月29日～1月3日）を除く）  
 呼吸器・感染症・アレルギー内科外来（南2階）  
 ※完全予約制



## 【主な取り扱いワクチン・予防薬】

**国内承認品** ● 日本脳炎、風疹、麻疹、水痘、おたふくかぜ、不活化ポリオ、破傷風トキソイド、B型肝炎、A型肝炎、風疹麻疹混合、狂犬病、髄膜炎

**輸入品** ● A型肝炎（Harvix）、腸チフス（Typhim Vi）、狂犬病（Verorab）、三種混合ワクチン（ジフテリア、破傷風、百日せき）（Tdap Boostrix）

**マラリア予防薬** ● メフロキン錠、マラロン錠

※当院では黄熱、コレラ、ダニ脳炎ワクチンはできません。

## 【予約・お問い合わせ先】

電話番号：0263-37-3475

（海外渡航者ワクチン外来専用電話）

受付時間：平日13:00～16:00

（祝祭日・年末年始（12月29日～1月3日）を除く）

※電話での対応は事務員が行いますので、電話での詳細な相談はご返答できません。

※詳細は当院海外渡航者ワクチン外来のホームページをご参照ください。

<http://www.hp.md.shinshu-u.ac.jp/patient/otheroutpatients/foreign.php>



## 【安全に健康に海外で過ごすための現地情報】

渡航の際には以下にて渡航先の状況を確認することをおすすめしております。

● 外務省のホームページ  
 「世界の医療事情」

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html>



● 厚生労働省検疫所（FORTH）  
 「海外感染症情報」

<http://www.forth.go.jp/>



# 高校生一日看護師体験事業

看護部 上條 陽子



高校生に看護の現状や看護の魅力を伝えるために一日看護師体験事業があります。これは長野県看護協会の事業の一環で、県内各地の病院でも実施されています。当院には7月29日に10名の高校生が来てくれました。ほとんどの生徒さんが将来看護の道を目指している高校生たちです。

高校生は白衣に着替えて、一日過ごします。最初は、先端医療教育研修センターでテープの貼り方、剥がし方や包帯の巻き方、車椅子の介助方法を学びました。その後、病棟で看護師に付いて、検温や看護ケアを見学し、中には清拭や洗髪、食事介助などを看護師と一

緒に手伝わせてもらった人もいました。患者さんと接する看護師の様子を見て、「笑顔でやさしい声かけをしていて、とても素敵だった」と感想を書いてくれた人もいました。初めての病棟で緊張もあったと思いますが、看護の仕事をしただけ垣間見ることができたようです。午後は、放射線部門、高度救命救急センター、集中治療部、手術部、ヘリポートの見学をしました。



この一日看護師体験を通して、高校生はますます看護



師になりたい気持ちが強まったようです。近い将来看護師となって信大病院に就職してもらえたら幸いです。

# 看護職復帰支援講習会を行いました

看護部 根井 きぬ子

看護職復帰支援講習会は、結婚・育児などで現場を離れていた看護師・助産師が、臨床現場に安心して復帰できるための支援です。

2025年問題をご存知でしょうか？2025年は、団塊の世代の方々が75歳以上の後期高齢者になる年です。すなわち、医療、介護、福祉サービスへの需要が高まるということです。このような社会情勢の中、多くの潜在看護師が臨床の場に復帰することが期待されます。当院では、以下の目標を持って、7月27日～30日の4日間のプログラムで行いました。



- ①最近の医療・看護の動向を知り、看護専門職としての職場復帰の第一歩が踏み出せる
- ②臨床現場に即した看護・助産の基本的知識・技術を体験できる

内容は、講義だけでなく、シミュレーターを使用した採血・静脈注射、フィジカルアセスメント、嚥下・口腔ケア、ポジショニングなど、演習を多く取り入れた研修で、参加者12名は、皆満足されていました。一人でも多くの方が復帰され、一緒に働けることを祈ります。





## 信州大学の病院連松本ぼんぼんに今年も参加

信州大学病院連 副連長 平野 浩志

去る、8月1日(土)の夕方から松本ぼんぼんが開催されました。

今回の「第41回夏まつり松本ぼんぼん」は参加連299連、踊り手2万5500人、観客20万人が参加し、例年に増して熱い夏まつりになりました。当日の空には、大きな入道雲が浮かんでおり、諏訪方面は凄い夕立があったニュースを耳にしました。しかし、松本市内は、踊り手の熱気の渦で雨雲が近寄れなかったよう

です。

信州大学医学部附属病院連は、本郷病院長、伊藤看護部長を先頭に、医師や看護師など多くの病院スタッフ総勢200名が、赤い法被とTシャツに身を包み、うちわを片手に踊りの輪に参加しました。日頃は病院から出ることのないスタッフは、地域の方々とともに、夏の思い出を作っていました。



## 小児科病棟の夏祭り 花火大会が開催されました

梅雨が明けた、7月28日（火）病棟玄関前にて東4階小児科主催による、毎年恒例の夏祭りや花火大会が開催されました。今年は、朝から小雨が降る天気で開催が心配されましたが、とても楽しみにしている子どもたちの思いが天に通じ、午後には青空が広がりました。

法被姿の小児科小池教授の挨拶を合図に、子どもたちは病院スタッフや信和会様が用意したヨーヨー釣りや輪投げ、くじ引きのコーナーへ駆け寄り親子で夏祭りを楽しみました。

外では、子どもたちや看護師が花火を片手に自慢の浴衣姿で、記念撮影をしていました。今年は、小児科の子どもたちだけでなく、多くの入院患者さんも一緒になって花火を楽しみ、たくさん用意された手持ち花火はあっという間になくなってしまいました。

離れたところでは、医師や看護師が打ち上げ花火に点火し、夜空に舞う花火に見入っていました。終盤には、昨年より2倍も幅広くなったナイアガラ花火が登場し、スタッフは着火に悪戦苦闘していましたが、花火が点くと「まぶしい」「きれい」と歓声があが



りました。最後に、集合写真を撮影して夏祭り、花火大会は無事終わることができました。

8月20日（木）には、小児科病棟に設置された「げんきのまど」を活用して、外に出れない子どもたちのための夏祭りも開かれました。画面には花火の映像が流れ、花火が開くたびに子どもたちの歓声が上がっていました。また、小児科デイルームでは「げんきのまど」を提供いただいた中部テレコミュニケーション株式会社（ctc）様のご厚意で用意された射的や輪投げ、ヨーヨー釣りなどを楽しみました。

## 院内学級にて移動プラネタリウムの上映会を行いました



信州大学医学部附属病院院内学級で6月16日（火）、部屋の外になかなかでられない子ども達に星空を楽しんでもらおうと、移動プラネタリウムの上映会が行われ、入院中の子ども達が、家族の方や先生方と一緒に満天の星を楽しみました。

このイベントは、被災地や学校、企業、ミュージアムなど様々なところへ「星空と宇宙を届ける」活動をしている星空工房アルリシャ（山梨県甲府市）とセイコーエプソン株式会社による、「病院がプラネタリウム」という、主に長期入院をしている子ども達を対象にした宇宙体験プログラムの一環で、信州大学医学部附属病院で上映されたのは初めてです。

院内学級に設置されたエアドームは直径約4メートル。風で膨らませ、プロジェクターで天井に星空を投影する仕組みです。子ども達はエアドームの中に寝転んだりしながらリラックスした姿勢で鑑賞しました。

まず、この日の松本の午後4時頃の空から太陽が沈んで、午後8：30頃の夜空が映し出されました。見上げるとそこには春の大曲線。でも、街灯りの影響で暗い星までは見えません。街灯りを消すとどうなるか…目を閉じてみんなでカウントダウンして目を開くと、満天の星空が広がりました。

今の時季に見える星座や、子ども達それぞれの星座の解説、地球を離れて太陽系から銀河系、宇宙へと、約30分間の星空散歩と宇宙旅行を満喫しました。

プラネタリウムを鑑賞した子ども達は、「銀河の外にでたとき、涙でそうだった」、「広い宇宙の中で、人間はちっぽけだけど、だから大切なんだ」「こんなに星があるなんて知らなかった」「キラキラしてきれいだった」と思い思いに感想を話していました。



## 東4階 病棟の紹介

東4階病棟 看護師長 所 真由美

東4階病棟は小児科と婦人科の患者さんが入院されている混合病棟です。

小児科は血液疾患の患者さんが多く、化学療法や臍帯血移植・骨髄移植などを行っています。移植前には医師・看護師・薬剤師・輸血部スタッフなどで最適な医療を提供できるように合同カンファレンスを開催しています。その他にも、神経・腎臓・循環器・消化器・内分泌・免疫などさまざまな疾患の患者さんが入院しています。婦人科は手術を受ける患者さん、化学療法や放射線療法を受ける患者さんが入院しています。東4階病棟は点滴治療をされている患者さんが非常に多いため、安心して治療が受けられるように、点

● 滴管理には十分に注意をはらいながら看護にあたっています。

● 小児科の患者さんは入院期間が長期に及んでしまうため、お花見、夏祭り、ハロウィン、クリスマスなど四季折々の行事を行っています。普段では見られない、子どもたちやご家族の方達、婦人科の患者さん達の楽しんでいる笑顔に私達も癒されています。退院時には入院中の院内学級から、地元の学校にスムーズに子どもが復帰できるように、医師、看護師も参加して学校連絡会を開催したり、また、患者さんの希望にそえる退院となるように、医療ソーシャルワーカーと連携を取りながら、みんなで頑張っています。



### ご意見函からの 声

**Q** 会計の計算窓口で、わからない事を尋ねたところ、「こちらではわからないので、病棟へ戻って聞いてもらえますか?」と相当ぶあいそうに言われ、問い合わせすらしてくださらなかった。不親切で窓口業務に適切な対応ではないと思います。

**A** この度は説明が足りず、ご不快な思いをさせてしまいましたこと、誠に申し訳ございませんでした。

計算窓口では、患者さんより尋ねられた内容、患者さんの体調によって診療科・病棟に問い合わせをしていますが、直接診療科・入院窓口へ患者さんで自身でお問い合わせいただくこともあります。何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

今後受付と致しまして、患者様に気持ちよく受診していただけますよう努力してまいります。

貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

# 電話番号表 (市外局番 0263) 代表番号：35-4600

## 【診療科外来】

南 1 階	小児科	37-2776	南 3 階	眼科	37-2789	リハビリテーション部(理学療法)	37-2836				
	遺伝子診療部			耳鼻いんこう科	37-2791						
	先端心臓血管病センター			産科婦人科	37-2793	リハビリテーション部(作業療法)	37-3399				
	循環器内科			皮膚科	37-2778	通院治療室	37-2552				
	整形外科			消化器外科		医療福祉支援センター	37-3370				
脳神経外科	移植外科	37-2781	高度救命救急センター	37-2222							
総合診療科	小児外科	37-2783			胸痛センター						
南 2 階	呼吸器・感染症・アレルギー内科	37-2768	北 2 階	呼吸器外科	37-2831	内視鏡センター	37-2803				
	消化器内科			乳腺・内分泌外科				37-2783			
	血液内科			麻酔科蘇生科	37-2846			臨床研究支援センター	37-3389		
	腎臓内科			形成外科						37-2831	
	脳神経内科			精神科						37-2846	
	リウマチ・膠原病内科			37-2770	北 3 階			子どものこころ診療部	37-3381	移植医療センター	37-2930
	糖尿病・内分泌代謝内科			37-2773				泌尿器科	37-2787		
内科総合外来	37-2773	特殊歯科・口腔外科	37-2796								
放射線科											

## 【医事課】

収 入 係	37-2763
入 院 係	37-2759
外 来 係	37-2757

## 【医療支援課】

患者サービス係 (診断書・労災)	37-2762
---------------------	---------

## 【病棟スタッフステーション】

西病棟		階	東病棟	
【先端心臓血管病センター】 循環器内科 心臓血管外科	37-2777	8階	糖尿病・内分泌代謝内科 乳腺・内分泌外科	37-2769
脳神経内科、脳神経外科 リウマチ・膠原病内科	37-2774	7階	消化器内科、血液内科 腎臓内科	37-2771
皮 膚 科 泌 尿 器 科	37-2788	6階	【呼吸器センター】 呼吸器・感染症・アレルギー内科 呼吸器外科	37-2784
消化器外科、消化器内科 移植外科、小児外科	37-2782	5階	眼 科、脳神経外科 麻酔科蘇生科	37-2790
産科婦人科 新生児科(NICU・GCU)	37-2772	4階	小 児 科 婦 人 科	37-2794
精 神 科 子どものこころ診療部	37-2775	3階	整 形 外 科	37-2786
放射線科、消化器外科、移植外科 小児外科、特殊歯科・口腔外科、RI 信州がんセンター、救急科	37-2780	2階	耳 鼻 い ん こ う 科 形 成 外 科	37-2792

くすりの相談室	37-3013	地域医療連携支援室	37-3370
総合医療相談室	37-3370	難病相談支援センター	34-6587
がん相談支援センター	37-3045	難聴児支援センター	34-6588
セカンドオピニオン外来	37-3111	肝疾患診療相談センター	37-2922
先端細胞治療センター (分子細胞診療室)	37-3220		



### ☆相談窓口☆

受付時間：月～金（祝除く）  
9時～16時

## 編集後記

9月に入って秋雨前線が停滞、台風が接近して、急に秋の模様となりました。ハミング72号は、信大病院70周年記念として病院長からのご挨拶にはじまります。伝統の中で教職員一丸となって培われてきました地域の皆様に信頼され愛される大学病院を願ってやみません。盛夏の松本ぼんぼんと花火大会の催しのひとコマ、感染制御室、看護部の取り組みや東4階病棟が紹介されています。外来立体駐車場も完成間近な今をお届けします。(輸血部 下平 滋隆)

あなたの自慢の写真で「ハミング」の表紙を飾りませんか？ 写真を募集しております！

お名前・写真のタイトルをご記入の上、  
[ctc@shinshu-u.ac.jp](mailto:ctc@shinshu-u.ac.jp) へお送りください。  
写真は2MB以上5MB未満のjpgデータ

【お問合せ・応募宛先】  
信州大学医学部附属病院 総務課 卒後臨床研修係  
TEL：0263-37-3050  
※応募はメールのみ受付